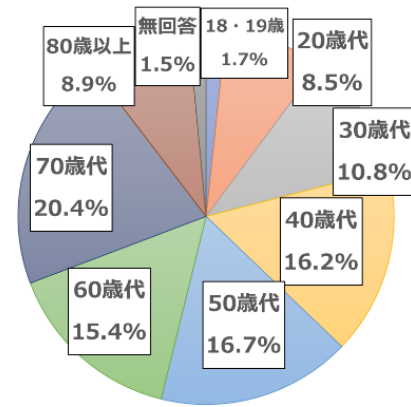


# 第24回市民意識調査の結果について（概要）

## 1 調査の概要

期 間：令和5年6月5日～6月26日  
 対 象：市内在住3か月以上で満18歳以上の市民  
 6,500人  
 調査方法：【配布】郵送、【回収】郵送又はインターネット  
 回収結果：有効回答数4,036票（有効回答率62.2%）  
 そ の 他：インターネットによる回答割合は全体の34.2%。前回より9.7ポイント増加

図表1 回答者の属性（年代）

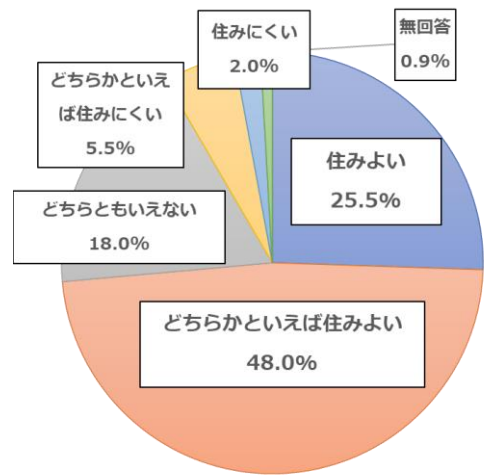


## 2 主な集計結果

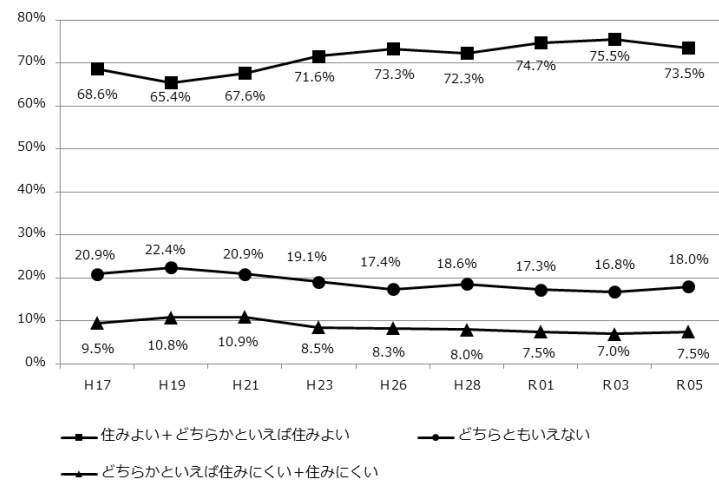
### (1) 住みよさ満足度…「住みよい」+「どちらかといえば住みよい」の回答割合

・豊田市が住みよいまちだと思ふ市民の割合は、73.5%で、前回調査（75.5%）とほぼ同水準となっています。  
 ・前回調査と比較すると年代別では、18～19歳及び40歳代の満足度が上昇しています。

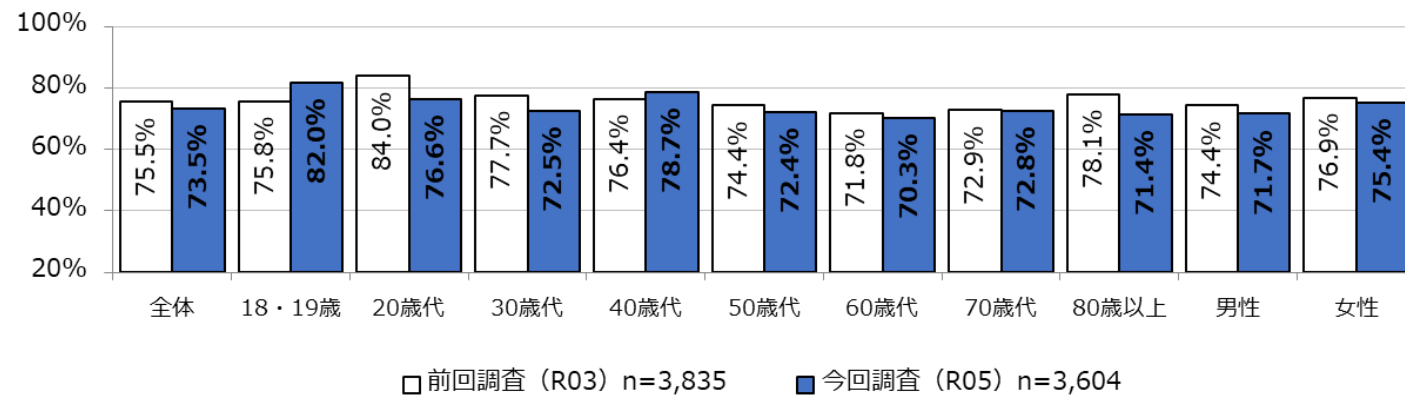
図表2 回答の割合（全体集計）



図表3 回答の推移



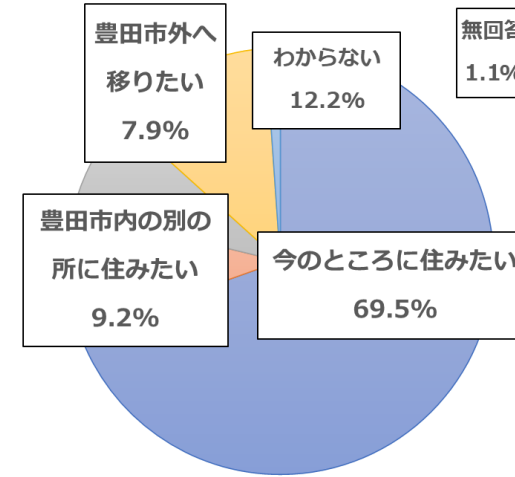
図表4 年代別住みよさ満足度の割合



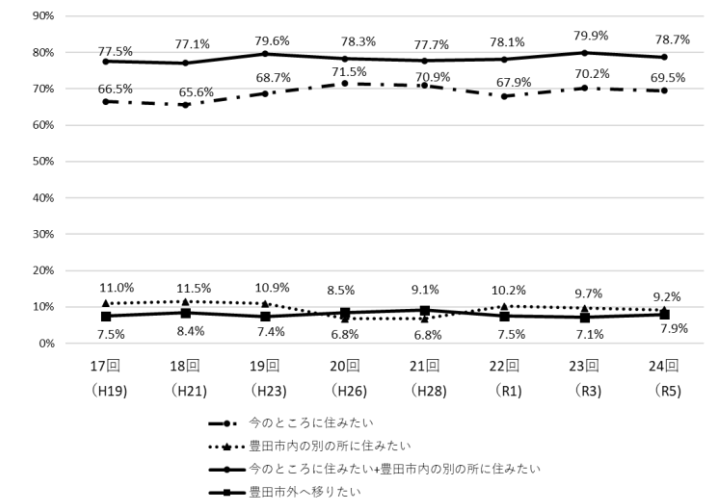
### (2) 定住意向…「今のところに住みたい」+「豊田市内の別のところに住みたい」

・豊田市に長く住みたいと思ふ市民の割合は78.7%で、前回調査（79.9%）とほぼ同水準となっています。  
 ・前回調査と比較すると18・19歳及び30歳代で増加しており、年代別では、おおむね年齢が高くなるほど、定住意向が高くなる傾向にあります。

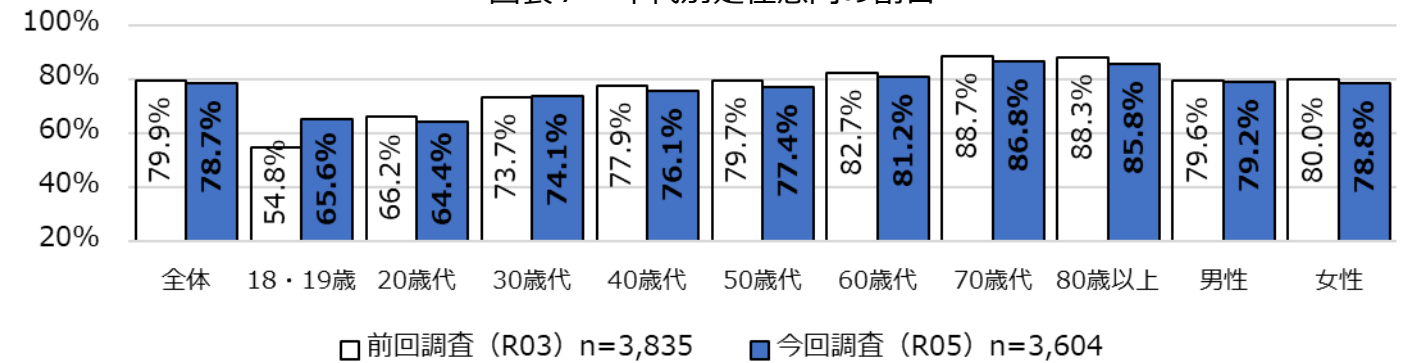
図表5 回答の割合（全体集計）



図表6 回答の推移



図表7 年代別定住意向の割合



### (3) 施策の評価

満足度：40施策を7段階（4が中間値）で評価した平均値  
 期待度：40施策の中から「力を入れてほしい施策」を選択した割合（最大3施策）

・全施策の満足度の平均値4.20（前回調査4.19）  
 【満足度の高い主な施策】①企業活動が盛んである（5.33）  
 ②必要な医療が受けられる（4.92）  
 ③消防・救急体制が充実している（4.81）  
 【期待度の高い主な施策】①利用しやすい公共交通が整っている（29.4%）  
 ②高齢者が安心して暮らすことができる（21.2%）  
 ③出産、子育てがしやすい（17.6%）

## 第24回市民意識調査の結果について（概要）

図表8 満足度と期待度の関係（満足度順位順）

力を入れて欲しいと感じている取組	今回の満足度		今回の期待度	
	満足度	順位	期待度	順位
(21)企業活動が盛んである	5.33	1	1.2%	36
(10)必要な医療が受けられる	4.92	2	13.8%	5
(14)消防・救急体制が充実している	4.81	3	3.0%	24
(1)出産、子育てがしやすい	4.70	4	17.6%	3
(27)良好な水辺環境などの水資源がある	4.65	5	0.8%	39
(35)汚水の適正な処理による衛生的な生活環境が実現されている	4.61	6	1.4%	32
(2)学校教育が充実している	4.57	7	11.3%	9
(18)農産物の地産地消に取り組んでいる	4.56	8	1.3%	34
(4)スポーツに取り組みやすい	4.53	9	3.5%	22
(31)公園や緑地が身近にある	4.50	10	5.5%	14
(33)生活や産業を支える道路が整っている	4.48	11	4.2%	20
(28)市民や企業が環境に配慮している	4.48	12	0.8%	38
(40)公共施設（建物、道路、公園、上下水道、河川施設など）が適切に維持・管理されている	4.46	13	8.0%	11
(6)郷土の歴史や伝統文化が継承されている	4.41	14	1.2%	35
(20)森林が健全に保全されている	4.34	15	2.1%	28
(5)芸術や文化に親しむことができる	4.33	16	2.6%	26
(9)健康づくりに取り組みやすい	4.28	17	3.6%	21
(11)高齢者が安心して暮らすことのできる	4.25	18	21.2%	2
(15)犯罪に対して安全で安心である	4.24	19	14.7%	4
(19)趣味や生きがいとして農業に取り組みやすい	4.22	20	1.5%	31
(13)地震や風水害に対して安心である	4.16	21	11.4%	8
(37)市民による地域づくりや市民活動が盛んである	4.12	22	0.9%	37
(30)快適な住環境が整備されている	4.11	23	4.6%	16
(32)美しいまちなみや風景のある	4.08	24	3.3%	23
(29)多様なニーズに応じた住宅や宅地が供給される	4.07	25	2.0%	29
(12)障がい者が地域で安心して自分らしく生活できる	4.07	26	5.5%	13
(36)市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めている	4.06	27	1.3%	33
(26)資源をむだにしない循環型社会の実現に取り組む	4.06	28	2.7%	25
(38)国際的な交流が盛んに行われ、国際化が進展している	4.05	29	0.7%	40
(3)地域で若者が活動している	4.02	30	4.4%	18
(7)高齢になっても活躍できる環境が整っている	4.02	31	11.5%	7
(16)交通安全対策が充実している	3.98	32	7.4%	12
(39)相互理解がはかられ、日本人も外国人もともに暮らしやすい	3.96	33	1.7%	30
(8)女性が活躍できる環境が整っている	3.89	34	4.7%	15
(25)地球温暖化対策に取り組む	3.79	35	2.3%	27
(22)商業地に魅力とにぎわいのある	3.73	36	9.9%	10
(23)交通や観光などの移動に必要な情報が得やすい	3.59	37	4.4%	17
(17)歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っている	3.47	38	12.2%	6
(34)利用しやすい公共交通が整っている	3.21	39	29.4%	1
(24)観光客が訪れる	2.98	40	4.4%	19

### 3 新規設問

#### (1) 生活全般の満足度

- ・生活全般の満足度の点数別の分布をみると、最頻値は8点（22.2%）、次いで7点（21.9%）、5点（19.8%）となり、全体の63.9%が5点と7～8点に集中しています。
- ・満足度が5点以上と回答した市民の割合は、全体の84.7%となっています。

図表9 回答の割合（全体集計）

